

富山県賃上げ・人材確保等に関する調査結果（令和6年度）のポイント

調査対象：県内に本社（本店）を有する企業（従業員10人以上） 4,509社

調査期間：令和6年8月28日～9月20日

調査方法：調査はがきの郵送（WEB回答）

回答数：1,768社（回答率：39.2%）

賃上げ

- 賃上げを実施した企業の割合は、正規雇用労働者では89.8%で、昨年度（89.9%）から横ばい。非正規雇用労働者は74.2%で、昨年度（67.1%）と比べて7.1ポイント高い。
- 正規雇用労働者の賃上げ率は、5%以上が17.5%で、昨年度（13.4%）と比べて4.1ポイント高い。4%台から2%台は昨年度から横ばい。2%未満は29.3%で、昨年度（36.6%）と比べて7.3ポイント低い。
- 賃上げ方法について、「ベースアップ」は昨年度と比べて正規雇用労働者では5.7ポイント、非正規雇用労働者では8.2ポイント高い。
- 賃上げを実施した理由は「従業員のモチベーション向上」（69.6%）が最多。「物価上昇への対応」（52.2%）、「離職防止・定着」（47.4%）が続くほか、「業績が好調・改善」は12.9%にとどまっているなど、いずれも昨年度と同傾向。
- 賃上げを実施しない理由は「業績不振・低迷」（37.6%）で最多であるが、昨年度（49.6%）と比べて12ポイント低い。「価格転嫁ができていない」（20.9%）は昨年度（25.6%）から4.7ポイント低くなったほか、「昨年までに十分実施済み」は16.2%で、昨年度（10.5%）から5.7ポイント高くなっている。

人材確保

- 人手不足（「非常に不足」、「やや不足」）と回答した企業は、昨年度（75.3%）に比べて、わずかに減少したものの、依然として7割を超える（72.4%）。業種別では、昨年度に引き続き、「建設業」（84.6%）、「飲食店・宿泊業」（82.3%）のほか、新たに「運輸業」（81.1%）が8割を超える。一方、「サービス業」は74.1%で、昨年度（81.9%）と比べて7.8ポイント改善。「製造業」は68.6%で昨年度（67.7%）から横ばい。
- 企業が採用困難と回答した人材（正社員としての採用計画がある人材のうち）は「大卒・大学院卒（理系）」（82.4%）が昨年度に引き続き8割を超える。「大卒・大学院卒（文系）」（68.9%）、「高卒」（62.8%）、「経験者（社会人）」（62.3%）で、昨年度から横ばい傾向。
- 今年度新たに調査した、外国人材の受入状況では、約8割（78.3%）の企業が外国人材を受け入れていない。また、過去に受け入れ経験のない企業の9割超（96.5%）が「今後も受け入れる予定がない」と回答。一方、現在外国人材を受け入れている企業の6割超（64.6%）が今後も受け入れを予定している。
- 今年度新たに調査した、高年齢人材（65歳以上）を雇用又は雇用を予定している企業は8割を超え（81.6%）ている。高年齢人材に期待することで最も多いのは「豊富なスキルや経験の蓄積」（72.3%）、雇用にあたっての課題で最も多いのは「健康上の配慮」（60.1%）。

賃上げ・人材確保に関する取組み

- 賃上げに向けて、今後強化していく取組みは、「コスト削減・業務効率化」（38.0%）が最多。次いで「価格転嫁」（33.7%）、「販路の拡大」（21.3%）、「設備投資等による生産性向上」（20.2%）が続く。
- 人材確保に向けて、今後強化していく取組みは、「社会人の採用を増やす」（44.9%）が最多。次いで「学生の採用を増やす」（30.9%）、「高年齢人材を活用する」（13.9%）「外国人材を活用する」（9.1%）が続く。
- 人材に選ばれる企業になるために、今後強化していく取組みは、「賃金の引き上げ」（44.3%）が最多。次いで、「快適な職場環境の整備」（34.6%）、「ワークライフバランスの推進」（18.1%）、「女性活躍に向けた取組の推進」（11.4%）が続く。